

令和 5 年 11 月 22 日

前町史刊行以降の状況について

1. 前町史の発刊とその後の町史関連の状況について

(1) 旧町（早来町）

① 発刊

早来町史は、計 2 冊発刊。

昭和 48 年 3 月と平成 10 年 2 月にそれぞれ発刊。

② 発刊以後の町史資料の保存等状況について

町史関連資料については、

- ・電子データとして、各種統計データがあるが、極めて少ない。
- ・昭和 28 年～平成 18 年の広報紙のデータ（紙・電子）があるが、一部欠損している

(2) 旧町（追分町）

① 発刊

昭和 61 年 8 月に発刊。

② 発刊以後の町史資料の保存等状況について

町史関連資料については、

- ・旧町史発刊以降も電子データとしてデータが多く残っている
- ・上記データは原資料ではなく、2 次資料の域にあり、欠落している部分もある
- ・年表については、『昭和 59 年～平成 13 年』のデータは残っている
平成 14 年以降については、現時点で存在未確認

(3) 合併後の動き

- ・安平町合併 10 周年記念誌の作成・発行
- ・町史資料収集のための職員が不在となり、臨時職員による新聞記事のスクラップは継続
平成 23 年からは、新聞記事の画像を保存
- ・胆振東部地震の被災により資料が散逸しており、後片付けの際、廃棄されたと思われる
- ・令和 3 年 9 月頃より、収蔵資料の整理
資料整理の状況は以下のとおり。

早来町：A 4 収納箱で 150 箱程度あるが、前 2 町史の原稿資料及び他市町村、社史、年鑑等の刊行物が大半である。また広報に使用したと思われる写真も多数ある。未開梱の箱（未整理、未確認）が 30 箱程度。その箱書きには、分野等の略称が記載。また、広報紙の現物が存在する。

追分町：A4 収納箱で 70 箱程度あるが、ほとんどが旧町史原稿であり、その他広報に使用

したと思われる写真が多数ある。また、広報紙の現物が存在する。

2. 令和4年度からの動き

(1)令和4年度

- ・安平町史制作業務委託プロポーザル実施、決定
- ・役場内に課長、課長補佐職で構成する推進協議組織を設置
- ・各課に対する簿冊、電子データでの町史資料の提出依頼、「株式会社ぎょうせい北海道支社」への提出
- ・提出資料に関する「株式会社ぎょうせい北海道支社」との調整等の作業

(2)令和5年度の動き

- ・資料収集作業の継続
- ・収集資料内の確認作業、簿冊・電子データの付け合わせ
- ・編さんに関する条例等の制定
- ・条例に基づく編さん委員会の設置、第1回町史編さん委員会開催